

めいばえ



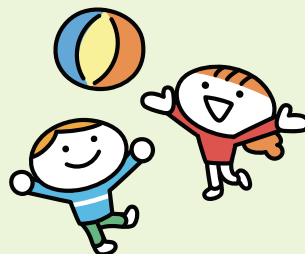
2026.4. Vol. 65

発行:新潟市私立幼稚園・認定こども園協会
事務局:新潟市私立幼稚園・認定こども園協会
TEL 025-240-7205

新潟市私立幼稚園・認定こども園保護者会会報



2026年2月20日(金)アルカディア市ヶ谷にて第39回全日本私立幼稚園PTA連合会・全国大会が開催されました。全国の私立幼稚園・認定こども園のPTA関係及び国会議員の先生方と「こどもがまんなか」について時間を共有させていただきました。



ごあいさつ



新潟市私立幼稚園・認定こども園協会
会長 齋藤 聖治

AI台頭が著しいですね。色々なシチュエーションでAIの姿がちらほらと垣間見れます。というわけで今回のご挨拶、私が思っていることをAIに伝え文書を作成してもらいました。以下、私がAIに依頼した今回の会報の会長挨拶文です。

雪解けが進み、冷たい風の中にも少しずつ春の気配を感じる頃となりました。長い冬を越え、園庭に差し込むやわらかな日差しを見るたびに、子どもたちの成長もまた、静かに、しかし確かに積み重なっていることを感じます。

日頃より当協会加盟園の教育・保育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

子育ては喜びに満ちた時間であると同時に、不安や迷いと向き合う時間でもあります。「これでよいのだろうか」「ほかの子と比べて大丈夫だろうか」そのような思いを抱かれることもあるかもしれません。しかし、

子どもの育ちは一人ひとり異なり、それぞれにその子だけの歩みがあります。

園では、友だちと笑い合い、ときにはぶつかり合い、そしてまた手を取り合う姿が日々見られます。その経験の一つひとつが、思いやりや我慢する力、自分の気持ちを伝える力へとつながっていきます。目に見える成果はすぐには表れなくても、心の土台は確実に育まれています。

幼児期に何より大切なのは、「自分は大切にされている存在だ」と感じられることです。ご家庭の温かなまなざしと、園での安心できる環境。その両方が重なり合うことで、子どもたちは安心して挑戦し、未来へと伸びていきます。

私たち加盟園は、これからも「子どもが真ん中」という原点を大切に、保護者の皆様とともに子どもたちの成長を支えてまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

私が思う「子ども居場所」「子どもが真ん中」をよく捉えてくれた文書になっているかなと思います。

やはりAI恐るべき...将来的にAIをうまく使いこなせるためにはどのような資質を育まなければならないのか、教育の現場も大きな転換期の時期ですね。

はじめの 100か月の 育ちビジョン

2024年にこども家庭庁がかかげた「はじめの100か月の育ちビジョン」。ここでも「安心」と「挑戦」の繰り返しの大切さが着目されています。

この大事な乳幼児期のおよそ100か月の中における毎日の繰り返しが、私たちの長い人生において大切な過程であることが示されています。

人生の基盤を築く大切な時期、
それが妊娠から小学校1年生までの『はじめの100か月』です。
この時期に、すべてのこどもが健やかに育つための
『はじめの100か月の育ちビジョン』を共有し、社会全体で支え合しましょう。
こどもたちの幸せが、私たち全員のウェルビーイングにつながります。



大切にしたい
ビジョンは

5つ

- 01 こどもの権利と尊厳を守る
- 02 「安心と挑戦の循環」を通してこどものウェルビーイングを高める
- 03 「こどもの誕生前」から切れ目なく育ちを支える
- 04 保護者・養育者のウェルビーイングと成長の支援・応援をする
- 05 こどもの育ちを支える環境や社会の厚みを増す

これを社会全体でこどもを育てることで、子どもたちのウェルビーイングを高めることが「はじめの100か月の育ちビジョン」にもかかげられています。



ウェルビーイング
||
「幸せな状態」であること

具守るってどういうこと？

見ててね、見ててね。

おとなはこどもの
「安心」の土台に



こどもの「挑戦」を
具守ること



乳幼児の育ちには、「安心」と「挑戦」の繰り返しが大切

子どもたちが大きく成長するには、日々の中で「好きなこと」「やりたいこと」を見つけることができる「探求する力」がそのカギになっています。

おとなの「見守り」により、「安心」と「挑戦」を繰り返しながら、「生きる力」が育まれていきます。

成長の根っこを育てるための栄養のひとつ「愛着(アタッチメント)」

「探求する力」は、力強く根を張り、幹を太くし、素敵なお花や実を付けるための子どもたちの原動力であり、その成長の基礎、栄養となるものが「愛着形成」です。

おとなのあたたかい「見守り」によって安心と挑戦が繰り返されることで愛着(アタッチメント)が形成され、それを基盤に自己肯定感、自己有能感、自己調整力などが次第に育まれ、「学びに向かう力(非認知能力)」となっていきます。



幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿

幼保小接続の重要な時期

6歳 [12か月] 7歳 [12か月]



はじめの100か月の6歳から7歳にかけての2年をこれまで以上に連続性を持って子どもたちの成長をつなぐ取り組み「架け橋プログラム」が新潟市内の幼保小間で活発に進められています。

新潟市HP トップページ > 子育て・教育 > 学校教育 > 小学校・中学校 > 新潟市の一貫した教育 > 新潟市共通アプローチ・カリキュラム

学年	1学期	2学期	3学期
1年生	国語(1) 漢字(1) 算数(1) 理科(1) 社会(1) 総合(1) 体育(1) 音楽(1) 美術(1) 保健(1) 道徳(1)	国語(2) 漢字(2) 算数(2) 理科(2) 社会(2) 総合(2) 体育(2) 音楽(2) 美術(2) 保健(2) 道徳(2)	国語(3) 漢字(3) 算数(3) 理科(3) 社会(3) 総合(3) 体育(3) 音楽(3) 美術(3) 保健(3) 道徳(3)
2年生	国語(1) 漢字(1) 算数(1) 理科(1) 社会(1) 総合(1) 体育(1) 音楽(1) 美術(1) 保健(1) 道徳(1)	国語(2) 漢字(2) 算数(2) 理科(2) 社会(2) 総合(2) 体育(2) 音楽(2) 美術(2) 保健(2) 道徳(2)	国語(3) 漢字(3) 算数(3) 理科(3) 社会(3) 総合(3) 体育(3) 音楽(3) 美術(3) 保健(3) 道徳(3)
3年生	国語(1) 漢字(1) 算数(1) 理科(1) 社会(1) 総合(1) 体育(1) 音楽(1) 美術(1) 保健(1) 道徳(1)	国語(2) 漢字(2) 算数(2) 理科(2) 社会(2) 総合(2) 体育(2) 音楽(2) 美術(2) 保健(2) 道徳(2)	国語(3) 漢字(3) 算数(3) 理科(3) 社会(3) 総合(3) 体育(3) 音楽(3) 美術(3) 保健(3) 道徳(3)
4年生	国語(1) 漢字(1) 算数(1) 理科(1) 社会(1) 総合(1) 体育(1) 音楽(1) 美術(1) 保健(1) 道徳(1)	国語(2) 漢字(2) 算数(2) 理科(2) 社会(2) 総合(2) 体育(2) 音楽(2) 美術(2) 保健(2) 道徳(2)	国語(3) 漢字(3) 算数(3) 理科(3) 社会(3) 総合(3) 体育(3) 音楽(3) 美術(3) 保健(3) 道徳(3)
5年生	国語(1) 漢字(1) 算数(1) 理科(1) 社会(1) 総合(1) 体育(1) 音楽(1) 美術(1) 保健(1) 道徳(1)	国語(2) 漢字(2) 算数(2) 理科(2) 社会(2) 総合(2) 体育(2) 音楽(2) 美術(2) 保健(2) 道徳(2)	国語(3) 漢字(3) 算数(3) 理科(3) 社会(3) 総合(3) 体育(3) 音楽(3) 美術(3) 保健(3) 道徳(3)
6年生	国語(1) 漢字(1) 算数(1) 理科(1) 社会(1) 総合(1) 体育(1) 音楽(1) 美術(1) 保健(1) 道徳(1)	国語(2) 漢字(2) 算数(2) 理科(2) 社会(2) 総合(2) 体育(2) 音楽(2) 美術(2) 保健(2) 道徳(2)	国語(3) 漢字(3) 算数(3) 理科(3) 社会(3) 総合(3) 体育(3) 音楽(3) 美術(3) 保健(3) 道徳(3)

園内研修の紹介

皆の安心安全のために

認定こども園 神宮幼稚園
主任 小泉 希

本園は、「皆の安心安全のために」を大切な合言葉として、これまで園内研修を重ねてきました。子どもたちが毎日安心安全に過ごせることはもちろん、保護者の皆さんが安心してお子さんを預け、保育者自身も心穏やかに子どもたちと向き合えることを大切に考えています。

園内研修では、安全管理について時に実践を交えながら確認や見直しを行うとともに、子どもたち一人ひとりの育ちや日々の保育の中で気付いた小さな変化や感じたことを伝え合っています。そうした積み重ねを通して、同じ思いで子どもたちを見守ることができるよう心掛けています。限られた時間ではありますが、その語り合いの中

で互いの考え方、見方を認め合うことができ、職員間の信頼関係を築く機会になっていると感じています。

本園のテーマでもある「みんな家族」のもと、子どもたちを囲む保護者、保育者が手を取り合い、温かな雰囲気の中で子どもたちを見守ることを大切に、日々保育を行っています。

これからも園内研修を通して、誰もが笑顔で過ごせる園であり続けられるよう、学びと語り合いを深めていきたいと思います。



「お父さんの子育て」

あさひ幼稚園 村山 俊

年長の娘におかずを取ってあげたら、「もう、いつまで待たせるつもり？」と言われ、笑ってしまいました。急に大人びた口調に娘の成長を実感しました。

小さい頃はおままごとや人形遊びを一緒にしました。なかなか娘一人で遊べるようにならず、私が即興でお話を作って「こういう風にやるんだよ」と見せていました。

しかし、「もっともっと！」とさらに面白いお話を要求されてしまい、新しいお話を考え出すのに苦労しました。

今ではようやく自分で見せてもらったように遊べるようになり、段々と親がいなくてもできることが増えてきました。親としては助かる反面、少し寂しい思いも同居しています。自分が遊んであげているつもりでしたが、実は娘に遊んでもらっていたのかもしれない。

私も多分に漏れず、いつ娘から嫌われるか、びくびくしております。反抗期が来たら子育ては成功とも聞きますが、それまでに娘との生活を目一杯楽しみたいと思います。

令和7年度事業報告

★全日本私立幼稚園
PTA連合会全国大会

2月20日(金) 東京 アルカディア市ヶ谷

★めばえ発行

令和8年度事業予定

★全日本私立幼稚園
PTA連合会全国大会

(日時・会場 未定)

★めばえ発行

編集後記

コロナ禍を経て、能登半島沖地震に続き、不安定な世界情勢が続く中、何気ない日常の中で子どもたちが夢を持って伸びのび育つことができる環境がいかに大切かを日々感じています。

今回のめばえでは、昨年引き続きアタッチメントの重要性に焦点を当て、あわせて新潟市内の幼保小と小学校が共につながりある教育を実現しようとする最近の取り組みについてもご紹介しました。日々の子どもたちの「見ててね」という気持ちに寄り添う大人の小さな見守りが、子どもたちにとって安心と挑戦の大きな支えになっていることを日々の子育ての中でも感じて頂けたら幸いです。

そして、今年度はこれまでの紙面による会報誌の発行ではなく、新たにウェブ上で手軽にご覧頂けるかたちへと刷新いたしました。これからも多くの方に新潟市内のこども園・幼稚園の取り組みを保護者の皆様にご覧いただきたいと思います。

今年度も皆様のお力により発行できましたことを、この場を借りて厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

(鶴巻 仁志)



◀ 新潟市私立幼稚園・認定こども園協会
ホームページ

